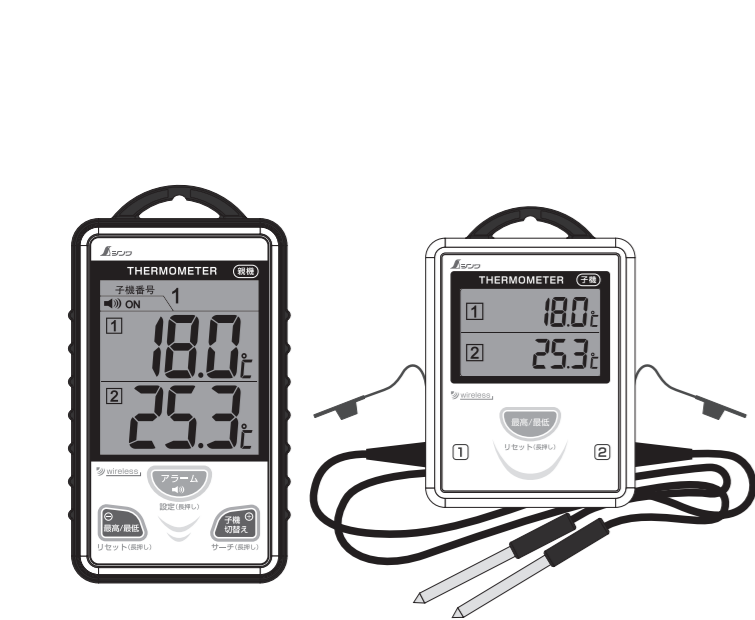


■各部の名称

●親機

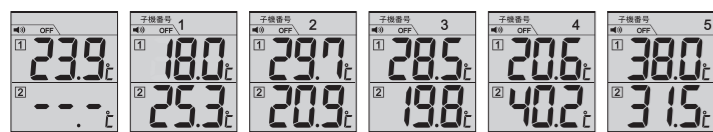


はじめに

シンプ「ワイヤレス温度計 A」をお買上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をお使いいただく前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この取扱説明書は読み終わった後も大切に保管してください。

■使用方法

- 親機・子機の液晶保護シールを剥がし、子機に温度センサーを装着します。
- 本体裏面の電池ケース内の絶縁テープを引き抜き温度を表示させます。
- 親機に子機を登録（詳細は「■子機の登録方法」をご覧ください）し、それぞれ設置します。（親機は本体裏面のスタンドを引き出して卓上型として設置するか、フック穴を使用して壁などに掛けてお使いください。子機は親機から見通し距離150m以内に設置してください。）
- 親機の子機切換えボタンで親機の測定値と登録された子機の測定値を切り替えて表示することができます。親機→（子機番号1→2→3→4→5）→親機の順に切り替わります。（子機番号と表示されない場合は親機の測定値を意味します。下図は子機が5台登録されている場合）また、最高/最低ボタンでリセットしてから現在までの間における最高温度・最低温度を表示することができます。



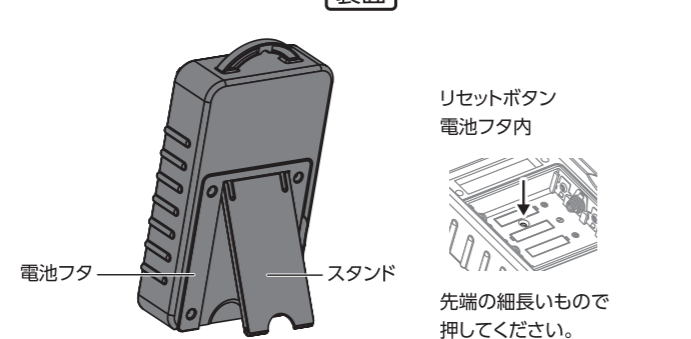
■最高温度・最低温度のリセット方法

最高/最低ボタンを長押しすることで表示されている各機器の最高温度・最低温度のリセットができます。親機で子機側のリセットをしても子機の最高温度・最低温度はリセットされません。同様に子機でリセットしても親機の子機番号表示の最高温度・最低温度はリセットされません。

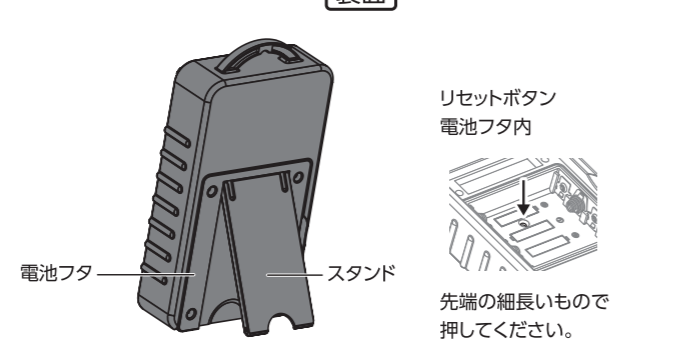
■温度表示について

親機・子機ともに1分おきに表示が更新されます。親機の中に表示されている子機の表示は4分ごとに更新されます。

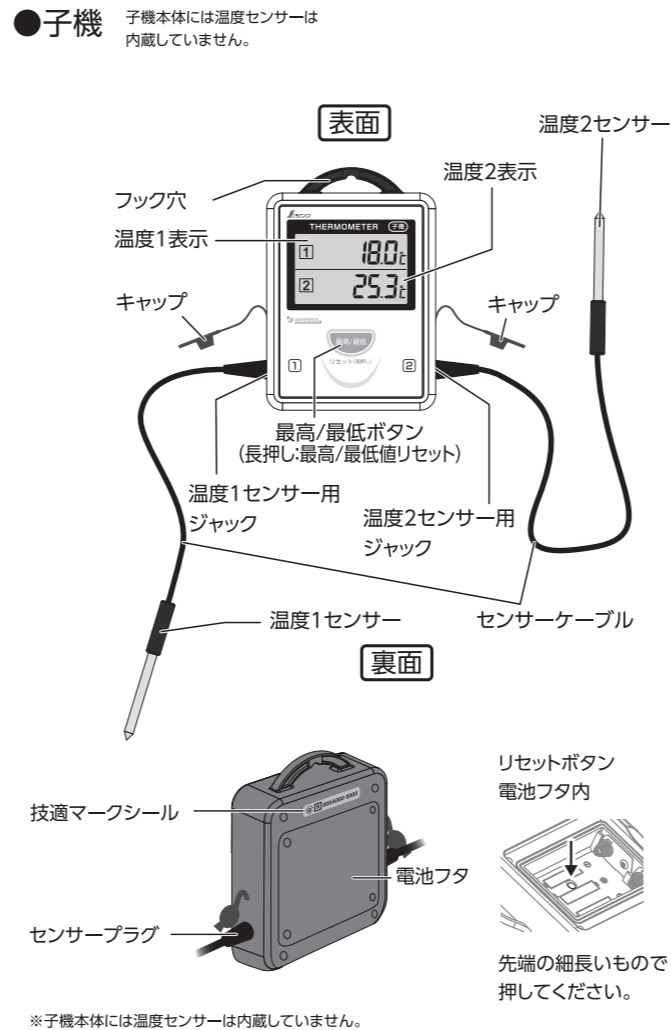
●表面



●裏面



●子機

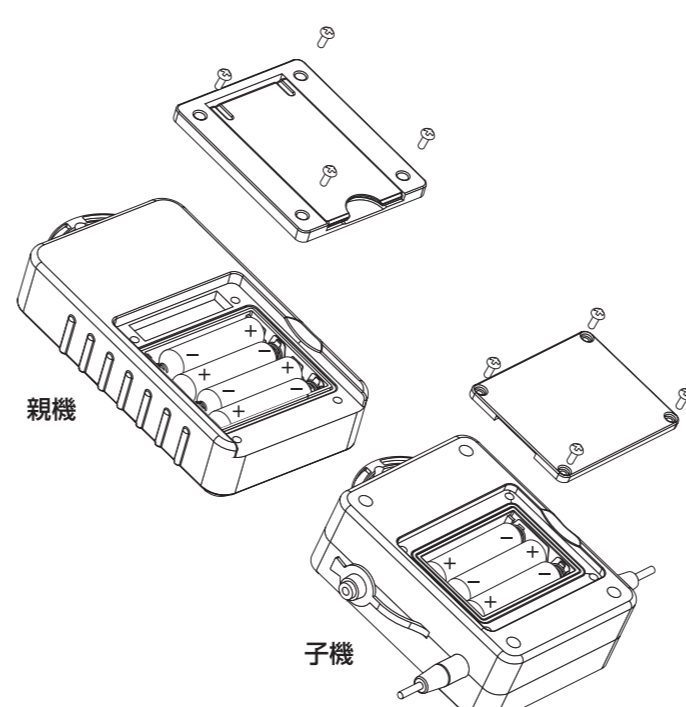


※子機本体には温度センサーは内蔵していません。

■電池の交換方法

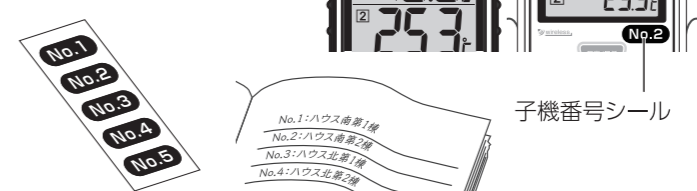
交換の際は機器ごとに全ての電池を同時に新しい電池と交換してください。

- 本体裏面のネジ4本を外し、電池フタを開けて古い電池を取り出す※1。
- 新しい電池を入れて電池フタをもとに戻し、ネジを締めます。【電池の向きを間違えないようご注意ください。】



■付属品

- 子機番号シール
- 子機番号と設置場所を管理する際に使用します。



■こんなときには・・・

症状	原因・対策
・液晶表示が薄い。	・電池残量が不足しています。新しい電池に交換してください。 ・使用温度範囲より高い温度の環境に設置されています。使用温度範囲内の環境に設置してください。
・液晶表示が真っ黒になる。	・使用温度範囲より高い温度の環境に設置されています。使用温度範囲内の環境に設置してください。
・液晶表示が固まって動かない。	・回路のエラーです。リセットボタンを押すか電池を抜いて約1分後に入れ直してください。
・親機に「:::」が表示される。	・子機が未登録です。任意のチャンネルに子機を登録してください。
・LLLが表示される。	・センサーケーブルが未接続です。センサーケーブルを接続してください。 ・センサーケーブルが断線しています。センサーケーブルを交換してください。 ・測定範囲より低い温度を測定しています。測定範囲内で使用してください。
・HHHが表示される。	・センサーケーブルがきちんと差し込まれていません。センサーケーブルをしっかりと差し込んでください。 ・測定範囲より高い温度を測定しています。測定範囲内で使用してください。
・親機に「- - -」が表示される。	○親機の温度を表示している場合 ・親機で温度測定を行う場合、仕様上温度2表示には「- - -」が表示されます。 ○子機の温度を表示している場合 ・選択している子機の電波を受信していません。 以下の条件に当てはまるかご確認ください。 1.子機が150m以内に届いていない。 2.親機・子機の間に電波を通るものがある。特に、金属製の壁や自動車などの近くは通信距離が大きく減少します。 3.本体が倒れている。内蔵されているアンテナの向きが変わり、通信距離が減少します。 4.子機の電池残量が不足している。新しい電池と交換してください。 ・ノイズの影響を受けている可能性があります。周辺に同一の周波数を使用した製品がない場所に設置してください。 (例)キーレスエントリーシステム、ガルージャッターのリモコンなど
・明らかに異常な温度が表示される。	

▲ 注意

無線機器について

本製品は電波法に基づく特定小電力無線機器として技術基準適合証明（工事設計認証）を受けています。そのため以下の内容を順守してお使いください。なお、本製品をご使用の際に無線機器の利用に関する資格や免許は不要です。

- 本製品は子機の裏面には電波法で定める技術基準に適合している無線機であることを証明する技術マークシール（貼付）付けられています。このシールは剥がさないでください。

- 分解、改造をしないでください。

- 日本国外では使用しないでください。

▲ 注意

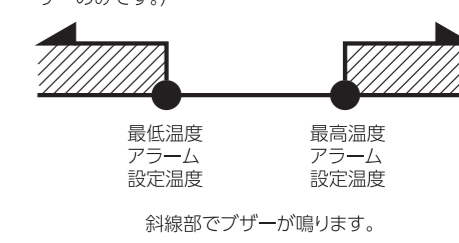
製品について

- 測定範囲を超えるご使用・保管はしないでください。
- 親機・子機間の通信距離は見通し距離で最大150mです。遮蔽物などにより短くなる場合があります。
- 本体をぶつけたり、落としたり、乱暴な取り扱いをしないでください。
- 温度センサーへの過度な負荷は故障の原因になります。無理に差し込んで曲げたりしないでください。
- 危険ですので温度センサーを人に向けてください。
- センサープラグは本体にしっかりと差し込んでください。
- 通電中の電気回路に温度センサーを接触させないでください。
- 温度センサーを土壌に差し込んでお使いになる場合には長時間放置せず、こまめに抜いて汚れを拭き取ってください。
- センサーケーブルの延長はできません。
- 下記のような場所では使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
 - ・直射日光の当たる場所・冷暖房器具の風が当たる場所
 - ・浴室など湿気の多い場所
- 汚れた場合は柔らかい布で拭いてください。水洗いやシンナー等の揮発油やアルコール類では拭かないでください。
- 同一の周波数を使用した製品の近くで使用する場合、ノイズの影響を受けることがあります。

■アラーム機能

※親機で設定します。

設定温度以上または以下になるとブザーが鳴り、設定温度を外れた子機番号が点滅します。（親機はブザーのみです。）



- 親機の子機切換えボタンでアラームを設定したい機器の温度を表示させ、アラームボタンを長押しします。
- 画面が切り替わり、温度1表示の段に「最高」温度2表示の段に「最低」の文字が表示され、温度1表示の段の温度が点滅します。
 - ボタン（最高/最低ボタン）と④ボタン（子機切換えボタン）で設定したい温度（右図では28℃）に合わせ、アラームボタンを押すと最高温度アラームが設定され、アラームボタンを押すと最高温度アラームが設定され、
- 温度2表示の段の温度が点滅します。
 - ボタン（最高/最低ボタン）と④ボタン（子機切換えボタン）で設定したい温度（右図では0℃）に合わせ、アラームボタンを押すと最低温度アラームが設定され、現在温度表示画面に切り替わります。
 - ④アラームボタンを押すことでアラームのON/OFFの切替えができます。※アラームの設定温度は、1.0℃ごとの設定となります。

子機番号3のアラーム設定の例



■仕様

	親機	子機
精度	0~50℃ ±1℃ それ以外 ±2℃	0~50℃ ±1℃ それ以外 ±2℃
測定範囲	-5~50℃	-40~90℃
最小表示	0.1℃	
使用温度	-5~50℃	
電源	単4アルカリ乾電池 4本	単4アルカリ乾電池 3本 (付属の電池はモニター用の為、寿命が短い場合があります。)
電池寿命	約6ヶ月*1	約6ヶ月
防水構造*2	IPX4*3	本体：IPX4*3 温度センサー部：IPX7*4
無線設備の種類	-	特定小電力機器
使用電波周波数	-	313.625MHz
通信距離	-	最大150m（見通し距離*5）
材質	本体：ABS樹脂 液晶カバー：ポリカーボネート樹脂 液晶：ガラス	本体：ABS樹脂 液晶カバー：ポリカーボネート樹脂 液晶：ガラス 温度センサー：ステンレス 塩化ビニル樹脂
本体サイズ	125×68×28mm	本体：110×70×35mm センサーケーブル長：3m
製品質量	180g（電池含）	220g（電池含）

- *1 アラーム機能でブザーが鳴ることで電池寿命が短くなる場合があります。
- *2 子機の防水性能を維持するためプローブを使用しない場合は、温度センサー用ジャックにキャップをしてください。
- *3 IPX4 防水性能 あらゆる方向からの飛沫による有害な影響がありません。
- *4 IPX7 防水性能 一時的（30分以内）に一定水深（1m以内）に水没しても内部に浸水しません。
- *5 見通し距離とは親機と子機を結び直線上に遮蔽物がない環境で通信可能な距離です。（高さ1.5mに設置した状態で性能を確認しています。）親機と子機の間に遮蔽物があったり、周囲（地面を含む）に電波を阻害するような建造物があると通信可能な距離が著しく低下する場合があります。